

令和7年度第1回

春日井市都市計画審議会

議 事 録

令和7年度第1回春日井市都市計画審議会議事録

1 開催日時 令和7年10月31日（金）午前10時～午前11時

2 開催場所 市役所第3委員会室（庁舎南館4階）

3 出席者

【会 長】	中部大学	教授	磯 部 友 彦
【委 員】	中部大学	教授	大 塚 俊 幸
	春日井商工会議所	会頭	木野瀬 吉 孝
	農業委員会	会長	松 浦 成 司
	市議会議員		大 村 勝 人
	市議会議員		堀 尾 国 大
	市議会議員		伊 藤 杏 奈
	市議会議員		加 藤 貴 章
	市議会議員		加 納 満
	市議会議員		伊 藤 建 治
	かすがい女性連盟	会計	田 中 由 美
	区長町内会長連合会	会長	平 出 幸 広
	春日井警察署	署長	山 岡 浩
【事務局】	まちづくり推進部	部長	森 浩 之
	まちづくり推進部都市政策課	課長	堀 尾 悦 嗣
		課長補佐	榊 原 潤
		都市計画担当主査	亀 谷 国 大
		主任	林 早 帆
	産業部農政課	課長	鈴 木 円
		課長補佐	内 海 和 啓

#### 4 議 題

- (1) 第1号議案 「尾張都市計画生産緑地地区の変更について」
- (2) 報告事項 「春日井市都市計画マスタープランの成果指標の進捗について」

会議資料

※別添資料

#### 5 議事内容

- (1) 議事録署名者は、審議会運営規程第6条の規定に基づき、会長の指名により、1号委員の松浦成司委員、2号委員の大村勝人委員に決定した。

##### (2) 付議事項

第1号議案 尾張都市計画生産緑地地区の変更について

- 【鈴木農政課長】 (資料に基づき変更内容について説明)
- 【伊藤(建)委員】 今回の変更箇所の中に道連れ解除は含まれているのか。
- 【鈴木農政課長】 道連れ解除は含まれていない。
- 【伊藤(建)委員】 小牧市や名古屋市は生産緑地の最低面積を300㎡に引き下げているが、春日井市は引き下げを行う意向があるか。
- 【鈴木農政課長】 現在、引き下げを行う意向はない。
- 【大塚委員】 今回の変更箇所の中に新規指定は含まれているのか。また、新規指定の受付を行っているのか。
- 【鈴木農政課長】 新規指定は含まれていない。平成4年に新規指定、平成5年に一部追加指定、平成19年に熊野桜佐地区の一部で市街化編入に伴う指定を行って以来、新規での指定はない。現在、窓口での相談も受けていないため、新規での受付等は行っていない状況である。
- 【木野瀬委員】 付議1-12ページの跡地利用について、ドラッグストアの建設予定があると聞いた。渋滞が多いところだが、認可せざるを得ないのか、市の考えを聞きたい。
- 【森まちづくり推進部長】 生産緑地の解除は、指定から30年を経過したことによる解除である

ためやむを得ないものである。その後の土地利用については所有者の考えによる。道路からの出入りの安全性等については助言できるが、渋滞緩和対策への対応は難しい。

【磯 部 会 長】 他に意見がないようなので、原案に異義のない方の挙手を求める。  
(全員挙手)

【磯 部 会 長】 全員挙手であり、原案に異議ないものとして決定し、その旨を春日井市長に答申する。

### (3) 報告事項

報告事項 春日井市都市計画マスタープランの成果指標の進捗について

【堀 尾 都 政 課 長】 (資料に基づき変更内容について説明)

【伊藤（建）委員】 報告 2-6 ページの⑦鳥居松線は事業進捗なしとなっている。消防署の移転等、周辺環境が変わってきているため、計画があるのであれば整備が必要な地域であると考え。この計画の内容を尋ねる。

【亀谷都市計画担当主査】 鳥居松線の未整備区間の計画は、16 メートルの道路断面を整備する計画である。

【伊藤（建）委員】 現状の道路断面は何メートルか。

【亀谷都市計画担当主査】 正確な数字は持ち合わせていないが、11 メートルから 12 メートルほどである。

【伊藤（建）委員】 計画を進めるためには用地取得から行う必要があるのか。

【亀谷都市計画担当主査】 その通りである。

【伊藤（建）委員】 大変だと思うが、消防署ができ交通状況が変わってきているため、整備に着手する要件があれば進めていただきたい。

報告 2-3 ページの目標 2、誰もが便利で利用しやすい交通環境づくりにおいて、カバー率が増加した要因について尋ねる。

【堀 尾 都 政 課 長】 カバー率については、牛山地区などの北部オンデマンドバスの運行開始や、ネオポリス地区や春日台地区でのバス停の追加、人口分布の変化により改善されたものである。

【伊藤（建）委員】 報告 2-4 ページで一人あたりの公園面積の目標値を第六次総合計画の改定により 12 m<sup>2</sup>で設定するとあるが、目標設定が上げられた理

- 由と、整備する地域は区画整理地内か市域全体かについて尋ねる。
- 【榑原都政課長補佐】 公園整備の目標設定では、熊野桜佐区画整理地内で進めており、そのことを勘案して、12 m<sup>2</sup>としている。
- 【大 塚 委 員】 居住誘導区域内の人口密度が高まっているということだが、居住誘導区域外の人口密度も高まっているのであれば、評価に疑問がある。居住誘導区域外の人口密度データを把握しているか。また、産業誘導ゾーンの新規企業立地面積が拡大しているということだが、産業誘導ゾーンの全体の面積はどのくらいあるのか。
- 【堀尾都政課長】 居住誘導区域外の人口密度については正確な数字は持ち合わせていないが、人口が減少する中で、居住誘導区域内の人口密度が高まっているのであれば、居住誘導区域外の人口密度については減少していると推測する。
- 【亀谷都市計画担当主査】 産業誘導ゾーンは、市域全体で約 400 ヘクタールの面積を指定している。
- 【大 塚 委 員】 居住誘導区域外の数値については、今後必要になると思われるので把握が必要だと考える。
- 【磯 部 会 長】 第六次総合計画で数値目標を上げている箇所については、都市計画マスタープランの修正を行うのか、読み替えを行うのか。
- 【堀尾都政課長】 都市計画マスタープランでも第六次総合計画との位置づけを記載しており、読み替える形である。
- 【田 中 委 員】 目標1くらしやすく居心地のよい住環境づくりとあるが、教育委員会で小中学校の統廃合を進めており、学校がなくなると若い人が寄り付かなくなると考える。居住誘導区域内の学校がなくなれば、誘導が進まないと考えられるが、都市計画としてどのように考えているのか。
- 【堀尾都政課長】 現在、教育委員会で小中学校の適正規模について検討を行っており、生徒が少ないことによる学校経営上の問題や、規模が大きいことによるデメリット等様々な検討がされている。学校は地域の交流の場や、スポーツやふれあいの場となる貴重な施設であると認識しており、生徒が安心して安全に通える環境づくりについてもしっかり検

討を行うため、学校の規模の適正化により周辺の魅力が落ちるものではないと考える。

【田 中 委 員】 例えば、玉川小学校や西尾小学校がなくなれば、次の小学校までかなりの距離となる。都市計画としても、居住を促進する地域の学校がマンモス化して、周辺は過疎化するといった教育環境について考えてほしい。

公共施設の耐震化率について 2026 年度末に 98%を目指すとなっているが、本来であれば 100%にすべきであると考え。予算の関係で低く設定されているということか。

【堀尾都政課長】 学校は地域に根差した重要な施設であり、教育とまちづくりは両輪になると考える。今後は、改めて教育委員会と情報共有しながら、まちづくりや公共交通の環境づくり等、生徒が安心して通学できるよう、都市計画の立場からも情報共有しながら進めていきたい。

【亀谷都市計画担当主査】 予算の問題もあるが、それ以外の要因として、工事の都合上同時に耐震化できず、年度ごとに順番に工事を行っていく公共施設があるため、98%となっている。

【加 納 委 員】 目標2の公共交通路線の人口カバー率について、高い数値がでているが、この数値は物差しによって変わり、マス目が大きいと高く、細かいと低くなると考える。市民の満足度とのギャップが生じる可能性があるため、今後は、内部で議論を掘り下げてほしい。

【堀尾都政課長】 バス停や鉄道駅からの距離や、人口メッシュがマスにかかるか、重心を取るかの違いなどで数値が大きく変わるため、改めて数値について精査していく。

---

---

午前11時閉会

上記のとおり、令和7年度第1回春日井市都市計画審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、議長及び出席委員2人が署名する。

令和7年12月10日

議 長   磯部 友彦

署名人   松浦 成司

署名人   大村 勝人